



第4回大会報告

◆ 第4回大会報告

坂口正道

広報担当 (大阪大学)

おかげさまで日本バーチャルリアリティ学会第4回大会も無事終了致しました。実行委員会では、大会を運営いたしました実行委員、セッションを進行していただいた座長の先生方、および大会参加者の方々に本大会の報告や感想をご執筆いただき、大会報告としてまとめました。第4回大会の様様をここにとどめるとともに、参加していただけなかった方々にも、少しでも本大会の雰囲気味わっていただければ幸いです。なお、本報告に掲載の写真は、北村喜文氏 (大阪大学) の撮影によるものです。本開催報告は、日本バーチャルリアリティ学会第4回大会ホームページ (<http://www-human.eie.eng.osaka-u.ac.jp/vrsjac99/>) にも掲載しております。

◆ 実行委員からの報告

○ 総括

岸野文郎

大会長 (大阪大学)

第4回大会は、9月29日 (水) から10月1日 (金) まで奈良県新公会堂 (ビッグルーフ) で成功裏に開催されました。最新の成果をご発表いただいた方、熱心に聴講・討論いただいた方、展示いただいた方、運営にご協力いただいた方に厚く御礼申し上げます。関西方面で大会開

催の打診を受けた時から、最新のVRの成果は古都奈良で、かつ能舞台での発表が最新技術と古代歴史との対比で趣き深いと思っていましたので、会場はすぐに決まりました。過去最高の143件の発表件数と400名を越す参加者数は、学会として益々活発化している証拠であり、館会長はじめ関係各位のご努力の賜物だと思います。

できるだけ多くの方に参加していただこうと、事前に開催情報を記者クラブに流してPRに努めました。その時、記者の方から、論文発表は専門家でないと理解できないだろうが、展示は体験して楽しめるので一般公開してはどうかとのアドバイスを受け、実演発表と機器展示に限って、参加費無料の一般公開を初めて実施しました。ホームページからの申込みという制約を付けたものの、70名を超える申込みをいただき、中には面白そうなので講演も聞きたいとのことで、会場で通常の参加登録をして参加された方もおられました。展示された方にとっても、できるだけ多くの方に見てもらうことができたと好評でした。PRの効果として、地元テレビ局の取材も受け、夕方のニュースで放映されました。この様子は早速録画されて懇親会場で上映され、大いに喝采を浴びました。

招待講演は、前回講演いただいた東宝の特撮監督川北紘一氏のご紹介によりSF作家の小松左京氏をお招きすることができました。実は事前打合せと称して2週間前に3時間ほど高説をお伺いすることができ、帰り際には持参した「さよならジュピター」の本にサインもいただきました。その頃は夏ばて気味とのことで心配していましたが、当日は颯爽とお越しになり、講演に先立ち展示もご覧いただきました。講演直前に前大会と同様に掛合いにしようとの提案があり、非常に焦りました。その心配も杞憂に